

信頼性試験対応規格

機械振動

試験項目	対応規格名
ランダム波振動試験	ISO 16750-3 / IEC-62660-2 / JIS C 600682-64 / JASO D 014-3 他

試験名: ランダム波振動試験

(対応規格)ISO16750-3

■概要

自動車部品の国際規格でISO-16750-3に該当する
機械負荷では振動・衝撃試験が扱われ、
乗用車、商業車、取付部位により正弦波振動、ランダム振動、SOR、
温度複合試験、衝撃試験
と試験条件を規定している
ここではランダム波振動試験について記載する

■目的

固有振動数をもった構造物(エンジンその他)に対してのサンプルの
振動特性を測定する。サンプルの固有振動数に対する耐久性を確認
する

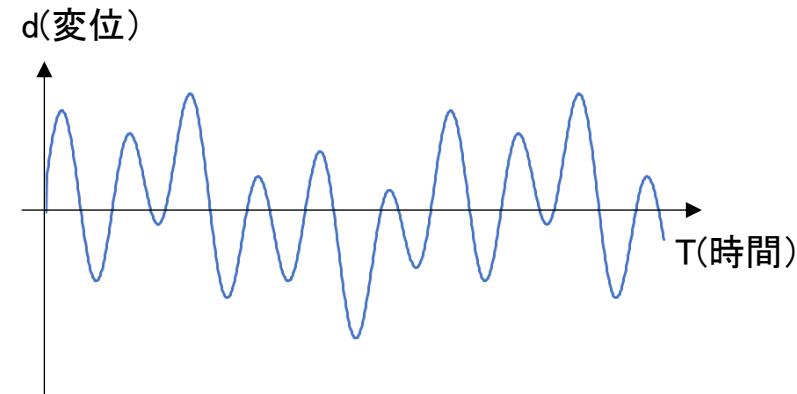
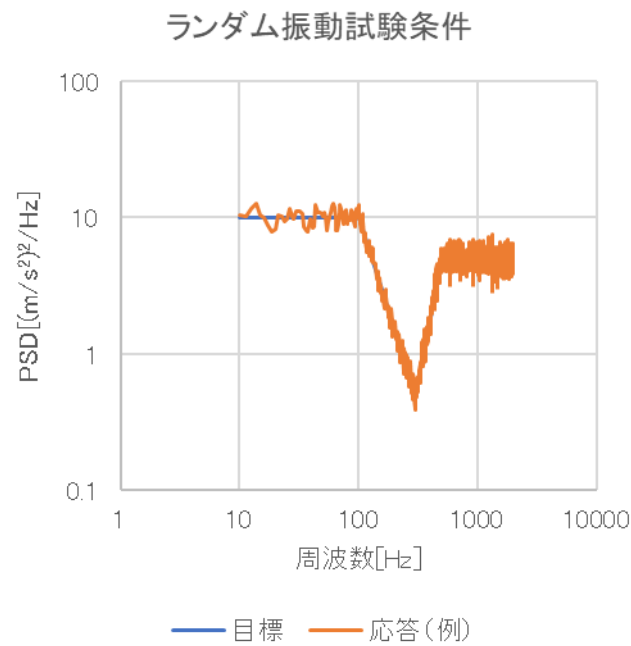


複合振動試験装置(IMV製)

試験名 : ランダム波振動試験

(対応規格)ISO16750-3

■試験例



周波数[Hz]	PSD[(m/s²)²/Hz]
10	10
100	10
300	0.51
500	5
2000	5

■加振機仕様

型式: A30/EM3HM
振動数範囲: 5~2600Hz
正弦波加振力: 30kN
ランダム波加振力: 30kNrms
ショック波加振力: 60kN
正弦波最大加速度: 789m/s²
正弦波最大変位 : 76.2mm(p-p)
最大積載重量: 400kg

■恒温槽仕様(垂直・水平ともに可)

型式: Syn-3HW-70-VH
温度範囲: -70℃~+180℃
湿度範囲: 20%RH~98%RH

※加速度実効値 96.6m/s² rms